

令和7年度 宮崎管内国道防災検討会【概要】

(日南防災(北区間)、日南防災(南区間・宮浦～鶉戸))

1. 会議の目的

宮崎河川国道事務所管内の国道において異常気象時の安全で円滑な交通確保および地域住民の生活環境向上を図るために必要な検討を行うことを目的。

2. 開催日時・場所

開催日：令和8年3月25日(水) 9:45～11:30

場所：宮崎大学

3. 委員

宮崎大学 名誉教授 横田 漢

宮崎大学 工学教育研究部 教授 末次 大輔

宮崎大学 工学教育研究部 准教授 福林 良典

宮崎大学 工学教育研究部 助教 神山 惇

国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所長 大嶋 一範
(代理出席) 副所長 弓場 進

4. 検討会の内容

- 1) 事業概要・これまでの経緯
- 2) 日南防災の事業進捗について【報告】
- 3) 今後の施工内容と方針について【確認】

5. 結果概要

○日南防災事業の現状と課題及び下記事業計画・事業費の見直しについて報告を行った。

【日南防災(北区間)】

- ・トンネル鏡吹付及びインバートの追加
- ・河川締切工の変更
- ・仮設工の変更 等

【日南防災(南区間・宮浦～鶉戸)】

- ・軟弱地盤対策工の追加
- ・上部工及び下部工構造の変更 等

○今後の施工内容(日南防災(南区間・宮浦～鶉戸))の方針について確認し妥当と判断された。

1. 事業概要・これまでの経緯

■これまでの経緯

国道220号日南地区は、落石や土砂流出などの土砂災害が多発する区間のため、昭和45年に異常気象時通行規制区間約3.2kmが指定され、これまでに約1.8kmがバイパス整備等の対策により規制区間が解除されている。残る2区間（延長13.9km）においては、日南防災（北区間）を平成23年に事業化、日南防災（南区間・宮浦～鶴戸）を令和2年度に事業化。

■国道220号日南地区における現道の課題

- ・過去20年間に通行規制及び災害発生に伴い全面通行止めが発生（93回発生）
- ・要対策箇所が多数存在。要対策箇所、カルテ対応箇所以外でも災害が発生

《位置図》



1. 事業概要・これまでの経緯

■事業の概要（日南防災（北区間））

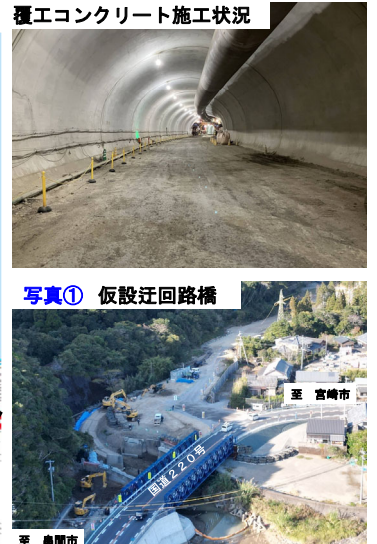
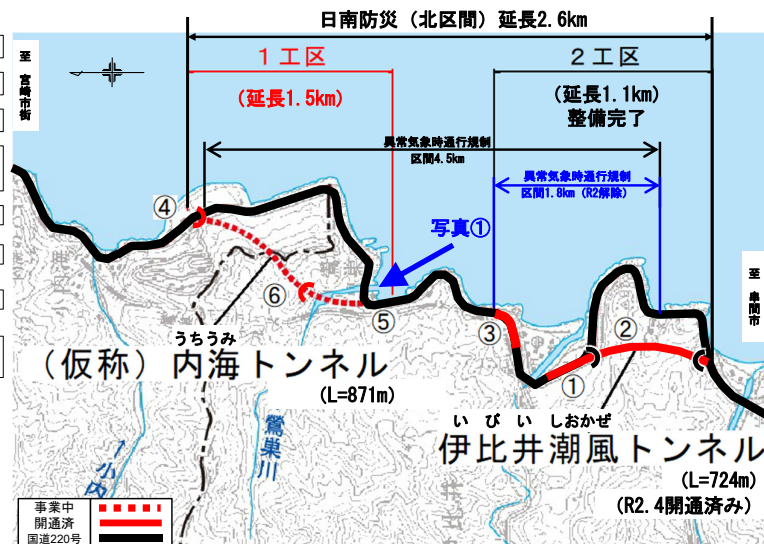
起 終 点：宮崎県宮崎市内海～宮崎県日南市富士
 延 長：L = 2.6km 事業化：平成23年度
 構造規格：第3種2級 V=6.0km/h 道路幅員：W=10.5m 2車線
 総事業費：14.4億円⇒18.9億円（+4.5.0億円）※物価上昇による資機材及び労務費等の増額（約2.7億円）を含む

■事業内容

- ・2工区については、令和2年4月に「伊比井潮風トンネル」が開通し、令和4年3月に現道部の改良も含め2工区全体の整備が完了し、異常気象時通行規制区間を1.8km短縮。
- ・1工区については、現在内海トンネル工事及び土工部の改良工事等を実施中。

【事業進捗】

H23：日南防災（北区間）の事業化
①H26：2工区 伊比井地区改良工事着手
②H28：2工区 伊比井潮風TN工事着手
R2：2工区 伊比井潮風TN工事開通 異常気象時通行規制区間を1.8km短縮
①③R3：2工区 整備完了
④⑤R5：1工区 内海地区ほか改良工事着手
⑥R6：1工区（仮称）内海TN工事着手
R7：1工区（仮称）内海TN工事中 鶯巣地区改良工事中



1. 事業概要・これまでの経緯

■事業の概要（日南防災（南区間））

起 終 点：宮崎県日南市大字宮浦鳥越～宮崎県日南市大字宮浦松ヶ迫

延 長：L = 1.7 km 事業化：令和2年度

構造規格：第3種2級 V=60 km/h 道路幅員：W=10.5 m 2車線

総事業費：80億円⇒132億円（+52億円）※物価上昇による資機材及び労務費等の増額（約18億円）を含む

■事業内容

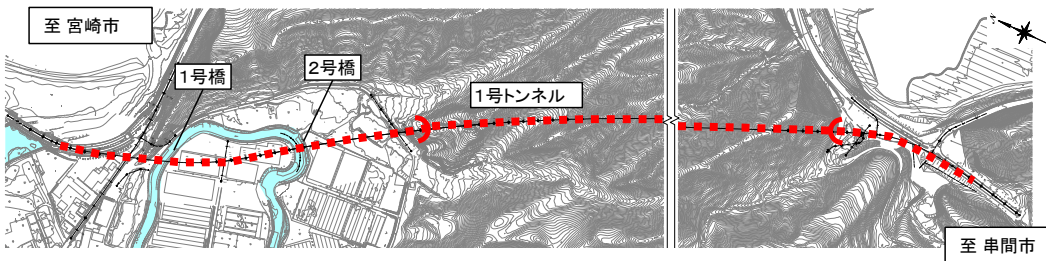
- ・これまでに測量、地質調査及び道路詳細設計等を実施し、今年度より工事に着手。



ドローンによる航空写真と計画道路の通過位置



凡例	
計画道路通過位置	■■■■■



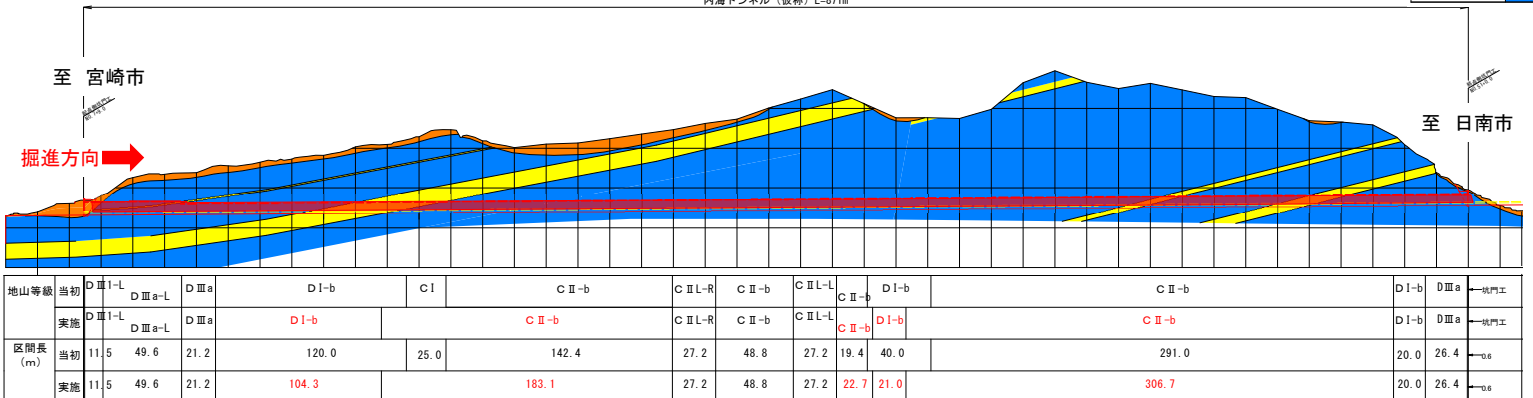
2. 日南防災（北区間）の事業進捗について

(1) 内海トンネル(仮称) 鏡吹付けコンクリートおよびインバートコンクリート（覆工）の追加

- ・鏡面に浮き・剥離が確認されたため、鏡吹付けコンクリートを追加。
- ・地山試料試験により、湧水による脆弱化や劣化が懸念されたことから、インバートコンクリートを追加。

内海トンネル（仮称）地質縦断面図

内海トンネル（仮称）L=871m



凡例	
差違埋積物	dt
崩積土	dt
砂岩層	Ss
泥岩優勢互層	nd

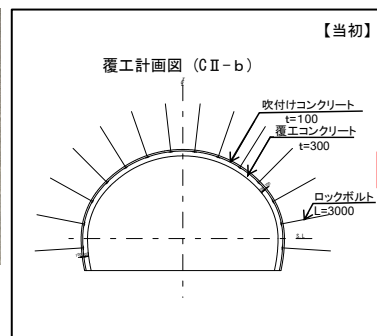


鏡面の状況

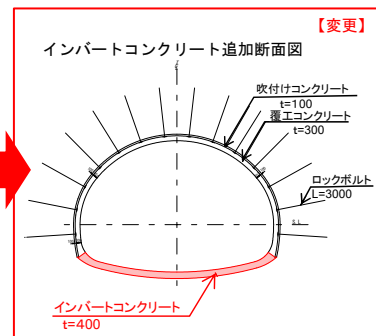


浸水開始

24時間後の崩壊状況



【当初】

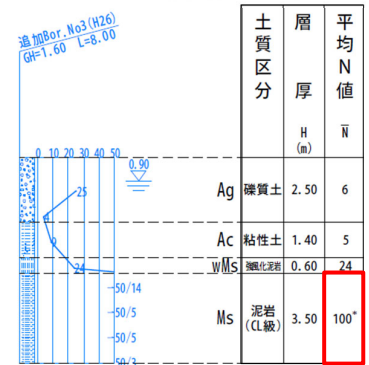
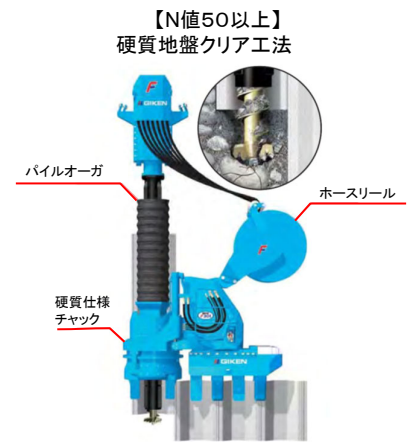
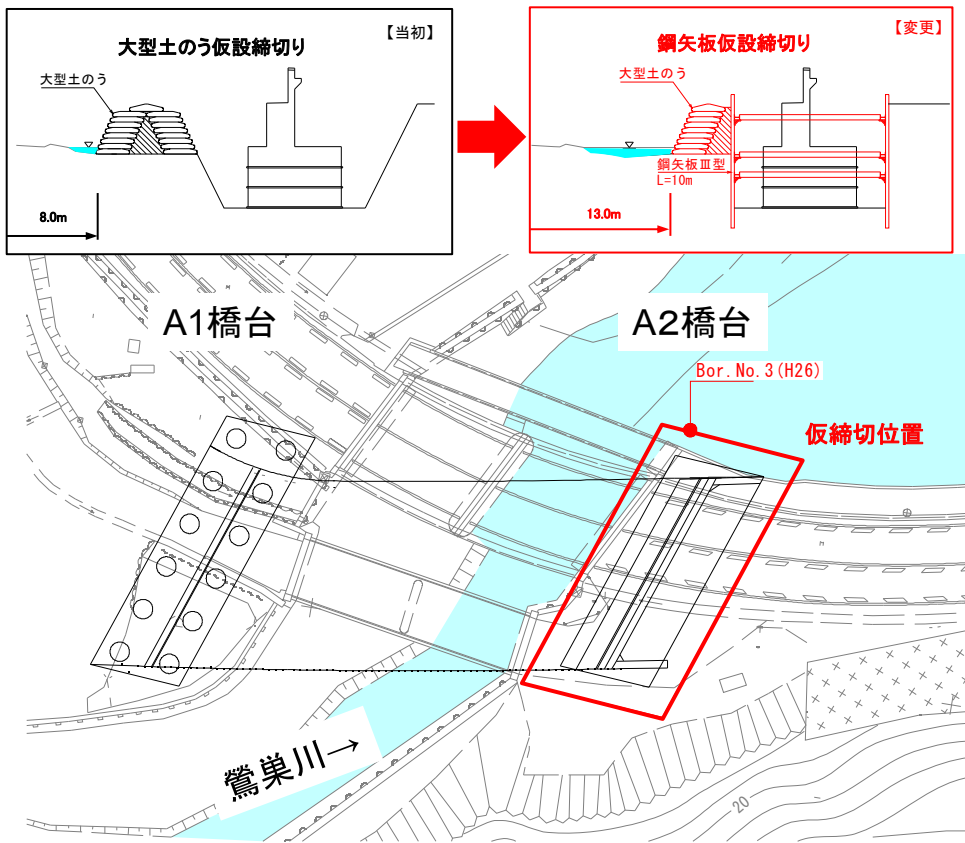


【変更】

2. 日南防災(北区間)の事業進捗について

(2) 河川締切工変更

- ・近年の降雨を考慮した河積断面の確保のため、鋼矢板を用いた仮設締切に変更。
- ・なお、ボーリング調査結果により硬質地盤の泥岩（N値100）が確認されたため、打設方法は硬質地盤クリア工法を採用。

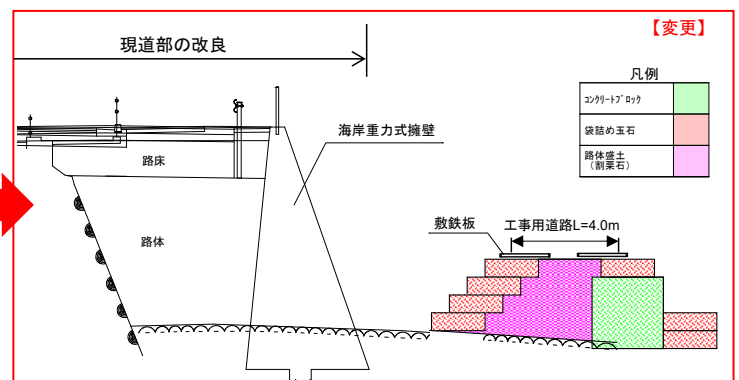
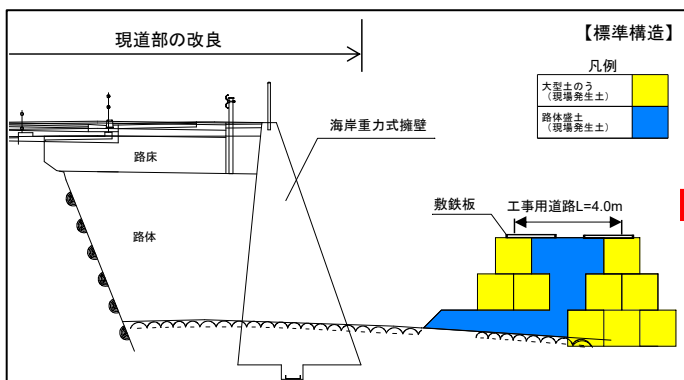


泥岩 N値100

2. 日南防災(北区間)の事業進捗について

(3) 仮設工の変更

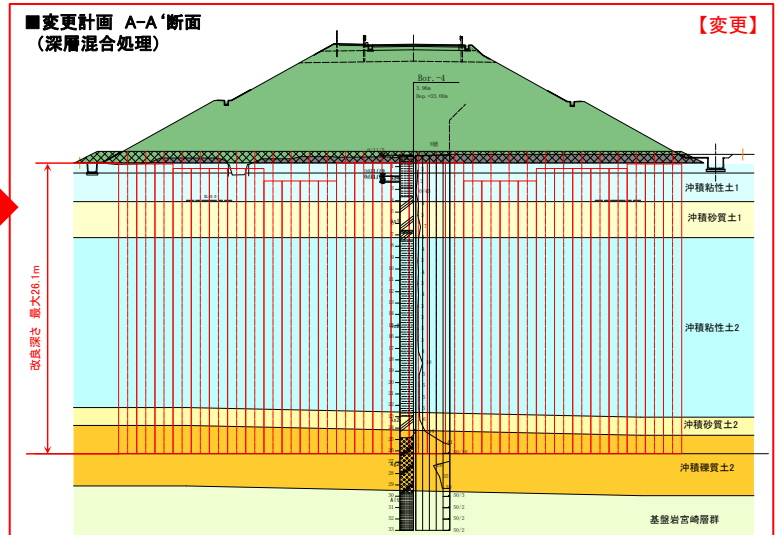
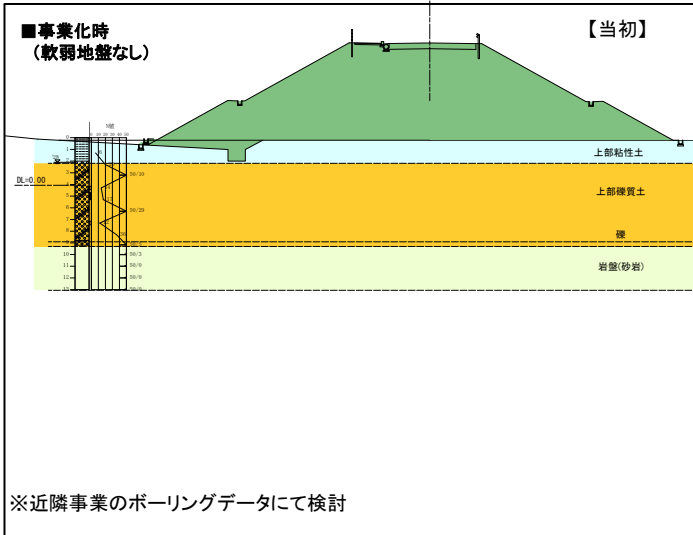
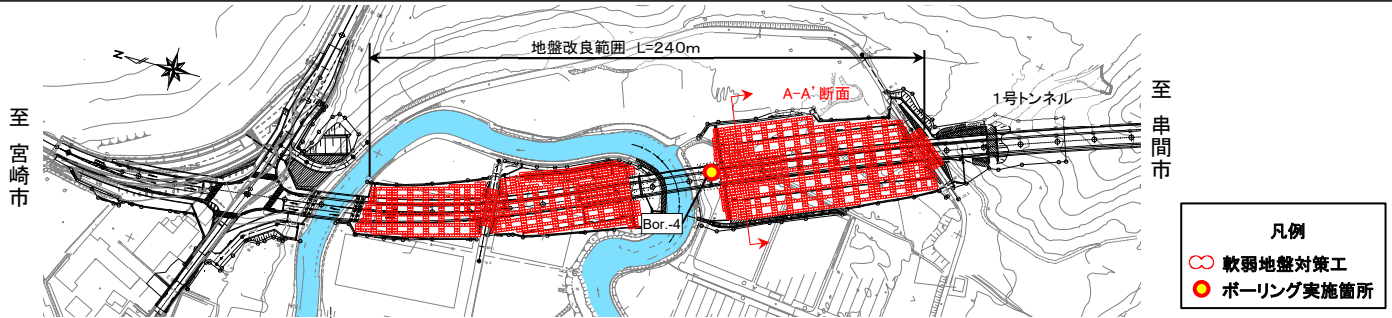
- ・当初、現場発生土を利用した標準的な工事用道路で検討を行っていたが、詳細設計により設置位置が決定し、波浪による土砂流出の影響を考慮した構造に変更。



3. 今後の施工内容と方針について(日南防災(南区間))

(1) 地質調査結果による軟弱地盤対策工の追加

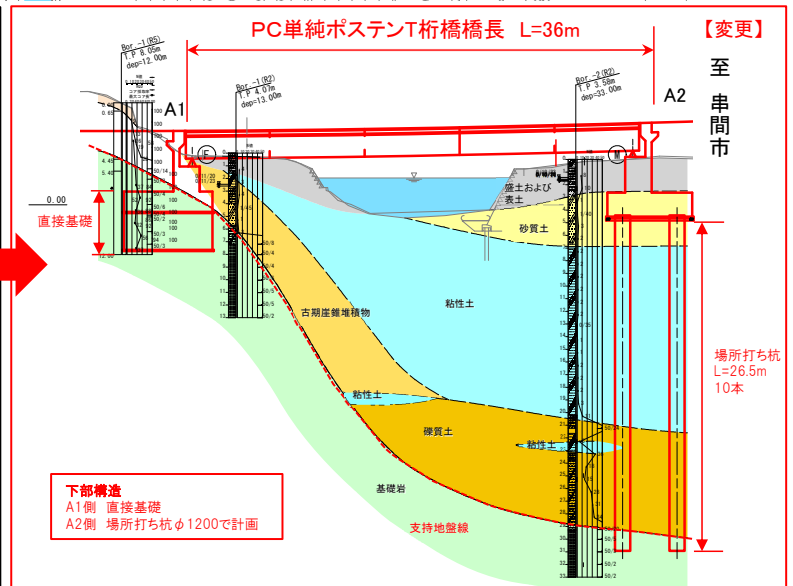
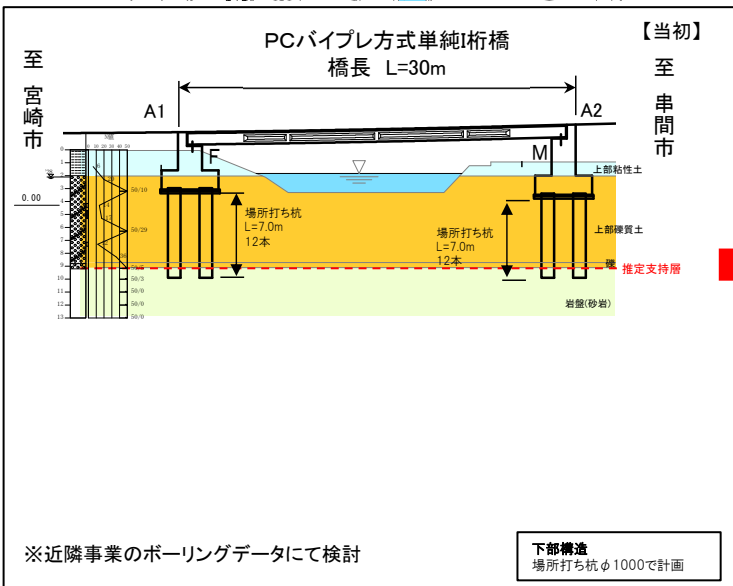
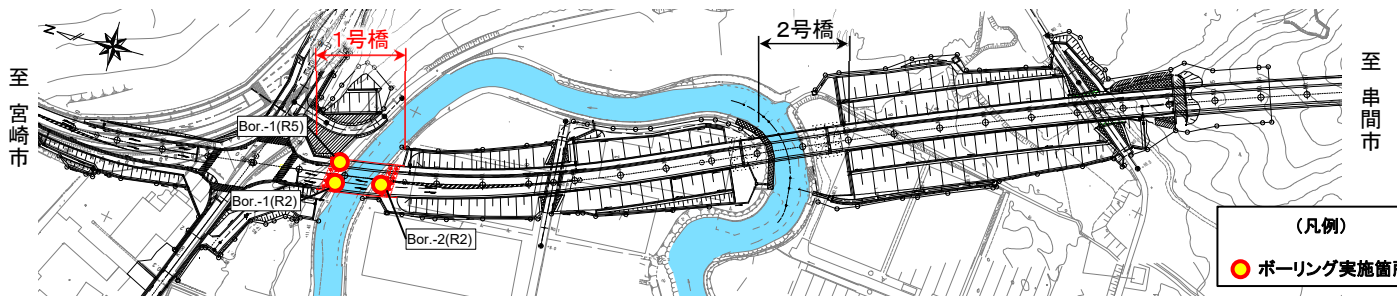
・原位置での地質調査の結果、軟弱地盤(沖積粘性土:N値2~7)が確認されたため、軟弱地盤解析を実施し、軟弱地盤対策工を追加。



3. 今後の施工内容と方針について(日南防災(南区間))

(1) 地質調査結果による上部工構造及び下部工構造の変更

・1号橋について橋台部の地質調査を実施した結果、支持地盤線が変わり、詳細設計により上部工構造及び下部構造の変更。



3. 今後の施工内容と方針について(日南防災(南区間))

(1) 地質調査結果による上部工構造及び下部工構造の変更

・ 2号橋について橋台部の地質調査を実施した結果、支持地盤線が変わり、詳細設計により上部工構造及び下部構造の変更。

